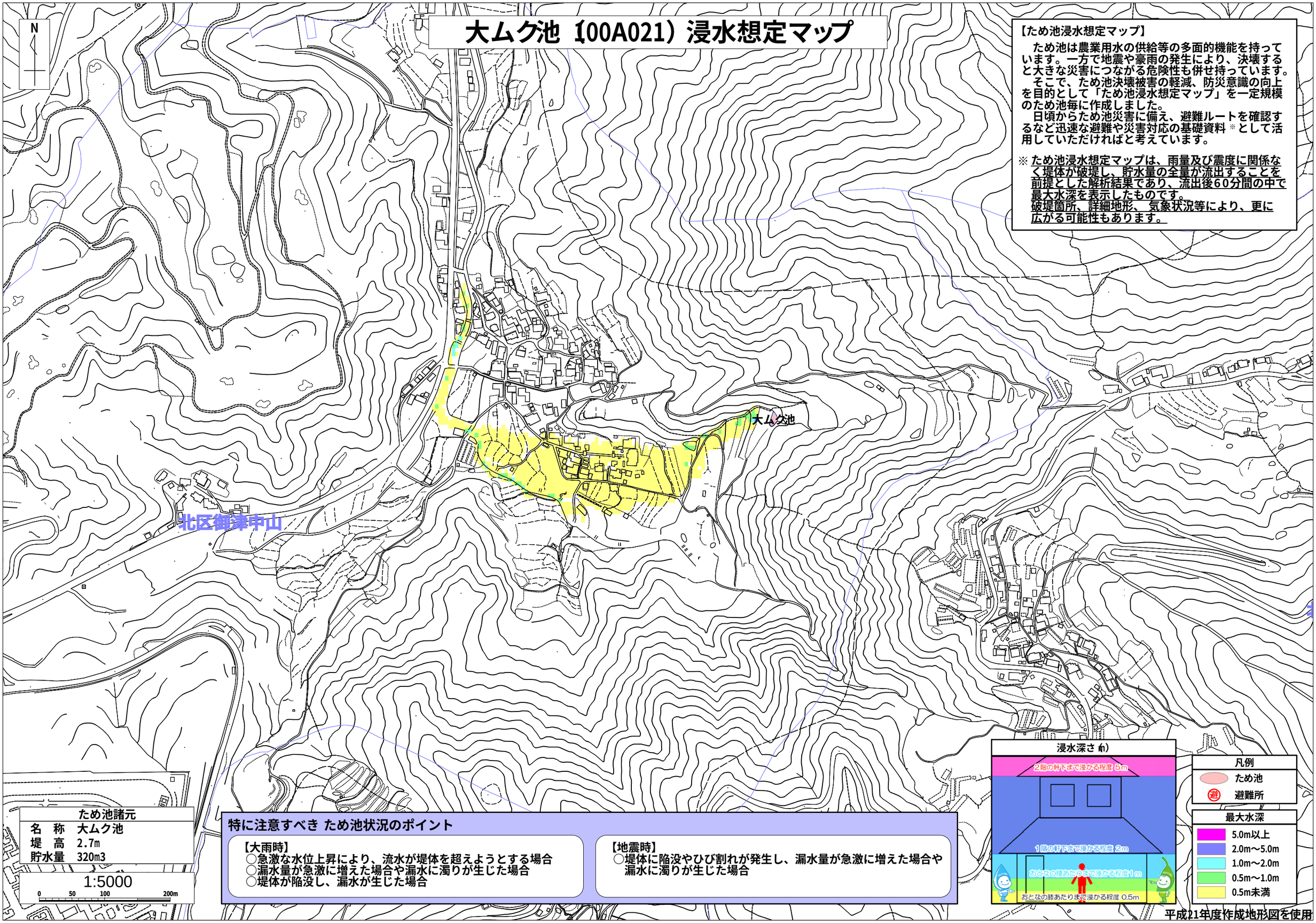
大ムク池（00A021）浸水想定マップ



【ため池浸水想定マップ】

ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。

そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。

日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料※として活用していただければと考えています。

※ ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破堤し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。
破堤箇所、詳細地形、 気象状況等により、更に広がる可能性もあります。

ため池諸元	
名　称	大ムク池
堤　高	2.7m
貯水量	320m3

特に注意すべき ため池状況のポイント

【大雨時】
- ◎急激な水位上昇により、流水が堤体を超えようとする場合
- ◎漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
- ◎堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】
- ◎堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合

平成21年度作成地形図を使用